

1. 教育目標

研究内容が臨床の現場に反映出来るテーマを考え、その研究プランを作成し実行する能力を培う。また最新の研究手技をマスターするための基礎能力を取得するとともに、新たな技術を応用できる柔軟な能力を育成する。新たなデータを解釈し、柔軟に研究に反映する能力を取得する。小児科学での研究が他科および他施設との共同研究に、また産学連携研究に発展できる能力を修得させる。

2. 到達目標

- (1) 神経・筋疾患に関する病態生理、診断、並びに治療に関する最新の知識を得、それを基に研究を遂行できる。
- (2) 小児消化器疾患・腎疾患に関する病態生理、診断、並びに治療に関する最新の知識を得、それを基に研究を遂行できる。
- (3) 先天代謝異常症・小児内分泌疾患に関する病態生理、診断、並びに治療に関する最新の知識を得、それを基に研究を遂行できる。
- (4) 小児疾患における疫学的・生理学的・分子生物学的研究で、新たな病態解明へ向けて研究を展開できる。
- (5) 新生児・未熟児疾患の病態生理に関する研究を行い、低出生体重児の将来を含めて予後の改善に関与することができる。

3. 成績評価の方法と基準

成績の評価は、本学で定められた「成績の評価基準」に基づき、到達目標に対する達成度及び修得すべき基礎知識・技能の修得度により行う。課題におけるレポート提出（10%）、実験内容のレポート提出（30%）、口頭試問の実施（20%）、研究成果の発表（40%）

4. 教科書・参考書

特に定めない。必要に応じて参考資料等を提示、配布する。

5. 準備学習

予習としては、関連文献を検索し、知識を整理して授業・実習に臨むこと。（1時間以上）
復習としては、講義内容を整理し、ノートなどにまとめておくこと。（0.5～1時間程度）

6. フィードバック方法

当該年度修了時に提出する「研究計画書」、又は「研究進捗・指導状況報告書」によりフィードバックを実施する。

(第1学年・昼間開講)

【小児科学】

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
実験 実習	内分泌疾患・新生児疾患に関する 診断法・治療法	李臨床准教授 香田助教	月曜/1・2 限	通年	4	第1研究室
講義	先天代謝異常症に関する 診断法・治療法	竹島主任教授 李臨床准教授	火曜/1限	半年	2	カンファレンスルーム
演習	外国文献の抄読・カンファレンス	竹島主任教授 奥田臨床教授	水曜/5限	半年	2	カンファレンスルーム
実験 実習	神経疾患・新生児疾患に関する 診断法・治療法	下村臨床准教授 柴田講師	金曜/4・5 限	通年	4	第1研究室

(第1学年・夜間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
実験 実習	遺伝性筋疾患に対する 分子生物学的アプローチ	竹島主任教授 李臨床准教授	月曜/6・7 限	通年	4	第1研究室
演習	外国文献の抄読・カンファレンス	竹島主任教授 香田助教	水曜/6限	半年	2	カンファレンスルーム
実験 実習	消化器・腎疾患の診断法・治療法	奥田臨床教授 柴田講師	木曜/6・7 限	通年	4	第1研究室
講義	小児消化器病の診断と治療	奥田臨床教授 下村臨床准教授	金曜/6限	半年	2	カンファレンスルーム

(第2学年・昼間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
演習	新生児疾患に関する抄読会	柴田講師 香田助教	月曜/5限	通年	4	カンファレンスルーム
実験 実習	新生児における炎症性 サイトカイン制御など	竹島主任教授 柴田講師	火曜/2・3 限	半年	2	第1研究室
実験 実習	シーケンス、 スプライシング解析など	竹島主任教授 下村臨床准教授	木曜/4・5 限	通年	4	第1研究室
実験 実習	小児内分泌異常症・ 消化器疾患の病態解析	奥田臨床教授 李臨床准教授	金曜/4・5 限	半年	2	第1研究室

(第2学年・夜間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
演習	小児疾患に関する抄読会	奥田臨床教授 下村臨床准教授	月曜/6限	通年	4	カンファレンスルーム
実験 実習	培養細胞に対する アンチセンスオリゴ投与の検討など	竹島主任教授 李臨床准教授	火曜/6・7 限	通年	4	第1研究室
実験 実習	分子遺伝学的実験法 サブクローニングなど	竹島主任教授 下村臨床准教授	木曜/6・7 限	半年	2	第1研究室
実験 実習	新生児疾患の病態解析	柴田講師 香田助教	金曜/6・7 限	半年	2	第1研究室